

清

せい せい

政

55

白

石

踏

み

進

み

ゆ

く

御  
製

光  
に  
映  
え  
る  
新  
宮  
は  
ま  
ま

新  
宮  
は  
ま  
ま





# 御遷宮のところが生きる社会を



神道政治連盟京都府本部

副本部長 横山 義雄

このたび思いがけず、副本部長の重責をお預かりしました。経験浅くとまどうばかりですが、思し召しと心得、分別弁えずお引き受けしました。林秀俊本部長と共に総意を大切にしながら務めますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

八年の歳月をかけ、諸事整えられた神宮遷御の儀が、十月二日・五日の両日、古式に習い厳かに行われました。奉祝の極みであり、神氣深まる豊受大神宮の特別席にて、その厳肅なる儀式をご奉拝させていただきました。その時の畏怖の念と深い感動は永く心に残るであります。

これに先立ち、猛暑の中「エイヤー」の掛け声で勇壮なお白石持ちの大事にも参加。浄潔の極み、あくまで清楚な新宮を間近にする光栄にも浴しました。いずれも得がたい経験であります。セミナーや諸活動を通して「式年遷宮とは」を学んだことで、深めることができたものであり、感謝するばかりです。

この感動的な大事業は、静と動、雅と勇壯で厳肅なる各面を持っています。さらに「御杜」をはじめ七一四種一、五七六点上る「幅広い多様な神宝」にみられる伝統文化が集約されています。巧みの技と合わせ伝承されるべき崇高な行事であります。遷御の儀に至ります迄、広義には、その内側とも云える

立場で関与、目の当たりにさせていただきました。得難い経験であり誠に光栄の極みであります。一大事が滞りなく執行されたことにより、六十三回に向けた動きが始まるうと思ひます。私たちは、この貴重な経験を通して大事を学びました。複雑で崇高なことであればある程に、日常のたゆみなき努力が必要であります。

神道政治連盟の諸活動も、広くは御遷宮の円滑な推進に寄与するものであります。先の参議院議員選挙では、神政連の願ひに協調いただける有村治子議員の三選を見る事ができました。会員、関係各位の奮闘のお蔭であり、厚くお礼申し上げます。ときにためらいもありましたが、事後の活動を通して我々の大義とした心を実現していただくことを願っております。

今、京都府神社界は、田中庁長、荒巻総代会長さんが、その要路でご活躍いただいております。情報、動静も入手され易く、諸活動を一層充実し得る好機でもあります。皆さんと共に頑張りますので、重ねてよろしくお願ひいたします。

当然のこと乍ら、夫々の御社頭に国旗がありますように、祝祭日には家々に翻りますことをひたすらに念じ、ごあいさつとさせていただきます。



# 神道精神を国政に

参議院議員 ありむら治子



本年夏に施行されました参議院比例代表（全国区）選挙では、激戦の中、力強いご支援を賜り、本当に有り難うございました。おかげさまをもちまして京都府で四、二〇二名（前回は二、一八五名）の方々に「ありむら治子」と名前をお書き頂き、三期目の当選を果たすことが叶いました。五月の出雲大社の平成の大遷宮、そして十月には神宮の式年遷宮と、天津神国津神のよみがえり・永遠の若さ「常若」の継承の神事が行われる、この平成二十五年に神社界唯一の推薦候補として改選を迎えるということに大変な緊張をもって選挙戦に臨みました。

照り付ける太陽のもと街頭演説を聞いてくださった方、雨にもかかわらず選挙カーにご声援賜った方、仕事を切り上げ個人演説会にお顔を見せてくださった方、事務局として運営に駆け付けてくださった方、それぞれの奉務神社でのご奉仕を抱えながら、十七日間に及ぶ長期戦において、ありむらの応援に走って頂いた京都府下の神職の皆様、日々の暮ら

しを営まれる中、貴重な時間と想いを私に差し向け、ご芳情を賜ったこと、本当に有り難く、ただただ感謝の気持ちで一杯です。

二期十二年にわたり、国会に議席をお預かりする中で、共に歩んで頂き、絆を紡いで下さった神職の方々が、逆風の時にあっても、最後までありむらを信じて下さり、戦い抜く力を与へ続けて下さったことは、私にとつて何よりもの誇りです。今後も、議会人としての使命を実現していく原動力とし、温かいご支援を賜った感謝の想いと志を心に刻み、活動を重ねて参ります。

今回の選挙戦、自民党に対する温かい応援のお気持ちを全国各地で実感致しました。期待をたしかな実感に変えられるよう、中堅議員として政務・党務の最前線で汗をかく役割をしっかりと果たしていきます。

賜った三期目では、いよいよ国会運営や政務・与党の政策形成において要となる実務の中核を担うこととなります。国政に向き合うためのリアルタイムの情報量が格段に増える

中であって、与野党の攻防や国会運営の流れを現場の実感として掴み取っていかねばなりません。この経験を着実に活かし、我が国の将来にとつて有為な議会人としての発言力・実行力を磨いていけるよう努めます。

安倍総理のもと、ようやくにして衆参のねじれ状態を解消することができました。政権を長期安定的なものとし、「決められる政治」を取り戻し、二十年來続いてきた日本の凋落をここで打ち止め、日本本来の外交力、経済力、教育力、文化発信力を造り固めなしたいです。これからも「しっかりとした国家観と、地に足のついた生活観を併せ持つて課題解決を図る」ことを旨とし、真っ直ぐで迷いのない活動を進めて参ります。志を同じくして下さる皆様のご健勝を念じ、今後も変わらぬご指導・ご交誼を賜りますよう、心をこめてお願い申し上げます。



# 参議院選挙対策の総括

幹事長 梶 道嗣

今回の選挙は前回とは違い、追い風の中で運動を展開することが出来た。しかしながらマスコミ

各社は、意図的もしくは思いようのない「自民圧勝」の予測報道を連日のように続け、その結果安心感を覚えた一部の自民支持者や無党派層の人々が、他党候補者に投票したと聞く。熟々選挙の難しさを痛感する結果となった。また、「候補者個人名を書く」という全国区比例代表選挙の投票方法は、未だに有権者には浸透しておらず、地方議員の中にすら認識出来ない方がおられたことには驚きを隠せない。今後の選挙対策として、このことは今まで以上に周知徹底していくことが肝要であろう。

今回震災・原発事故のこともあ

り、中央本部では東北・関東における有村候補の得票数は、前回のようにはいかないとの予想を立てていた。その分、他の地域ブロックの責務は大きく、わが近畿ブロックではいち早く十二月十八日の臨時ブロック協議会で、二府四県リレー形式による講演会の開催を決定し、二月八日～十一日までの四日間で六会場二、三〇〇名を超える参会者を得ることが出来た。

当本部においては、昨年一昨年に結成された京都府議会神道議員連盟及び京都市神道議員連盟の絶大な協力を得ることが出来た。「有村候補を応援する」と、府議会で十二名、市議会で十一名の先生が手を挙げて下さり、全国で

も類を見ない地方議員の応援のもと、他府県に比べ優位に選挙活動を進めることが出来た。六月一日の選挙対策会議においては、地方区は西田昌司候補を応援することを確認すると共に、渡辺府議、寺田市議のご指示で、市内各区及び市町村別に議員並びに神政連役員担当者を担当し、各々目標数を定め責任をもって活動を展開することを決定した。

こうしていよいよ選挙戦に突入り、七月六日には京都縦断の街宣活動が行われた。日頃我々の陳情に黙って耳を傾けられ、穏やかにお話しされる先生方が、「宣車」に乗りマイクを持った途端にその態度は豹変し、私達では到底マネのできない迫力を持って、道行く有権者に応援候補の投票を呼び掛けておられた。またこの街宣活動には、青年隊（隊長は神道青年会会長 岩田康彦君）にも大変お世話になった。演説場所の確保に先発隊として奔走し、また炎天下の中精力的にビラ配りに徹して頂いた若い姿に只々頭が下がる思いである。

その他、各種会合の会場提供、ポスター掲示、電話作戦、西田昌司候補責任会場におけるアピール活動にご協力頂いた各議員、神社、関係者の皆様、共に運動を展開して頂いた「京都市日本保育協会」「植木協会」「京都府遺族会」「京都神祇調度装束協同組合」「京都神祇工芸協同組合」の各団体の関係者に対し深く感謝の意を表し活動報告とさせて頂く。

ある。





## 第 23 回参議院議員選挙 ありむら治子候補 支援活動及び府内選挙区別比例代表得票数一覧表

平成 24 年

- 12月18日 臨時近畿ブロック協議会開催 京都府本部より二府四県リレー方式による講演会開催の提案  
12月22日 講演会チラシ京都府本部にて作成配布近畿2府4県・ありむら事務所各1万部 計7万部印刷

平成 25 年

- 2月10日 「日本を取り戻そう！日本再生講演会」京都大会開催 弁士＝有村治子参議院議員、西田昌司参議院議員、多賀久雄府議会神道議連会長、山本恵一市議会神道議連副会長 /370名参加 於：リーガロイヤルH京都  
2月11日 日本再生講演会総括 有村議員、村田秘書、近畿ブロック役員 於：新大阪駅  
3月23日 船井神社総代会総会にて支援のお願いチラシ配布並びに支援依頼挨拶 於：園部国際交流会館  
3月26日 京都府神社総代会総会にて支援のお願い 懇親会にて村田秘書挨拶 於：Hグランヴィア京都  
3月28日 有村治子議員表敬 靖國神社参拝後19名参加 於：参議院会館  
5月1日 支援名簿協力依頼 2000名分回収  
6月1日 第一回有村治子京都府選挙対策会議 有村治子、府議6名、市議5名出席 於：護王神社会館  
6月3日 近畿ブロック協議会 選挙対策について村田秘書説明 於：北野天満宮  
6月12日 近畿地区選対会議 宣車打合せ、統一ポロシャツ、統一ポスター台紙製作決定 於：神社本庁  
6月15日 第二回有村治子京都府選挙対策会議 府議市議支援議員、保育連盟、植木協会、京都府遺族会 西田昌司議員立会演説会合同開催の勸奨 於：シルクホール  
6月26日 第三回有村治子京都府選挙対策会議 府議市議支援議員6名参加 於：西田昌司選挙事務所  
7月4日 有村治子選挙ポスター配布作業 於：神社会館  
7月5日 有村治子西日本出発式参加 於：大津パルコ  
7月5日 電話作戦開始～20日迄 神社会館に臨時電話三台設置 延べ55名参加  
7月6日 京都市内選挙カー街宣活動 京阪出町柳駅出発→京阪八幡市駅  
7月6日 有村治子個人演説会開催 200名参加 於：平安神宮会館  
7月7日 出雲大社巖分祠にて個人演説会開催 800名参加 後藤副幹事長支援アピール 於：出雲大社巖分祠  
7月8日 神社庁船井支部神職会にて支援のお願い 支援依頼挨拶 於：松本楼  
7月13日 寺田市議担当西田昌司個人演説会合同開催 証紙貼付チラシ配布、アピール 於：仁和小学校体育館  
7月15日 神社庁丹波五支部総会にて支援のお願い 支援依頼挨拶 於：美山町  
7月16日 渡辺府議担当西田昌司個人演説会合同開催 証紙貼付チラシ配布、アピール 於：明親小学校体育館  
7月18日 自民党京都府連総決起大会 証紙貼付チラシ配布、アピール 於：Hオークラ京都  
7月18日 菅谷府議担当西田昌司個人演説会合同開催 証紙貼付チラシ配布、アピール 於：百々小学校体育館  
7月19日 中村市議担当西田昌司個人演説会合同開催 証紙貼付チラシ配布、アピール 於：室町小学校体育館  
7月20日 神社庁関係団体会議にて支援のお願い 於：神社会館  
7月20日 荒巻府議担当西田昌司個人演説会合同開催 証紙貼付チラシ配布、林本部長支援挨拶 於：安井金比羅宮  
7月21日 第23回参議院選挙投票 4,202票獲得(全国191,324票)

京都府選挙区	前回(22回)得票数	今回目標数	今回(23回)得票数	得票数増減	増減率
1区	431	650	655	+224	52%
2区	387	530	707	+320	83%
3区	338	600	614	+276	82%
4区	395	810	818	+423	107%
5区	262	500	626	+364	139%
6区	372	675	782	+410	110%
得票総数	2,185	3,765	4,202	+2,017	92%



平成二十五年 度

# 活動方針および活動計画

## 活動方針

天皇陛下におかせられては、昨年の一二月に手術を受けられ、以降の御体調のことが心配されたが、本年三月十一日にも『東日本大震災二周年追悼式』に御臨席遊ばされるなど、我々国民の前に御健勝なお姿をお見せ頂くことは洵に有難き極みである。民主党政権下、日本の国体の根本である皇室の存続を揺るがす所謂「女性宮家」創設の問題は、多くの国民からの反対意見とその退陣によってひとまず沈静化した。これからは我々が提唱する元皇族の皇族復帰、これによる男系男子孫による皇室の将来的安泰化に向けての周知活動を展開していかねければならない。

本年十月には、いよいよ神宮において第六十二回式年遷宮の遷御の儀が斎行される。この機会にさらに遷宮意義を府民に伝えると共に、参宮促進に我々も努めなければならない。永年実施している靖國神社参拝・沖繩京都の塔慰霊参拝・京都府戦没英霊追悼慰霊祭等の事業についても、四十周年事業として執り行ったサイパン島での慰霊祭で培った参加者の一人一人の思い

を胸に積極的に展開していきたい。

昨年十二月の解散総選挙で民主党が大敗し、我々が待ち望んでいた第二次安倍内閣が誕生した。この内閣の最大の課題は日本国憲法の改正である。先ずはその環境整備として憲法改正規定（九十六条）の緩和に着手しているが、我が国の最高法規である憲法を安易な条件により改正できるようにすることは危険性も孕んでいる。国政選挙の投票率が過半数を切る現状において、有権者の半数が選んだ国会議員の半数の賛成で安易に憲法を改正して良いものなのかとの意見もあり、取り分け慎重に取り進めなければならない問題として注視していかなくてはならない。しかしながら我々の悲願でもある、天皇条項、政教分離規定、第九条の改正と非常事態条項の追加等が盛り込まれた、日本の国柄に則した自主憲法が早期に発布されることを期待するものである。

また国を取り巻く情勢は深刻化しつつある。昨今、頃に近隣諸国から不当な領海・領土侵犯の圧力を加えられている。政府の毅然とした対応を懇願することは言うまでもないが、国民一人一人が強い意志を持つことも大切である。我々は出来るだけ多くの府民に戦後教育により植え付けられた間違った歴史観を払拭すべく時局講演会を開催し、更なる結束を図っていきたい。



中央本部同様、当本部においても単独で完遂できる事業には限りがある。中央本部においては国会議員懇談会、当本部においては府議会・市議会神道議員連盟の会員の皆様と協力することにより成し得る事業が何倍にも増えることを確信している。神道精神が直接国政にと志をともにしてきた国会議員懇談会の会長を務める安倍晋三氏率いる内閣の長期安定政権を確保するためにも来る七月の第二十三回参議院議員選挙においては、自民党が勝利しなくてはならない。これらのことを踏まえつつ本年度は次に掲げる活動計画を柱とし事業を展開していきたい。

## 活動計画

### 推進事業

- ①第二十三回参議院議員通常選挙への対策
- ②京都府議会神道議員連盟・京都市神道議員連盟との懇談会開催
- ③京都府戦没英霊追悼慰霊祭の斎行（二十五年十二月六日）
- ④沖縄京都の塔慰霊参拝団による英霊追悼行事の遂行（二十五年十一月十九～二十日）
- ⑤靖國神社における京都府出身戦没者慰霊祭の斎行（二十六年三月二十七日）
- ⑥京都府知事選挙への対策（平成二十六年三月頃）
- ⑦時局問題の正しい情報を得るための講演会の開催（二十五年十二月六日）

⑧京都の驍を語る女性の会の開催（未定）

⑨第二十八回会員大会の開催（二十六年六月）

⑩会報「清政」の発行（年二回発行）

⑪機関紙「せいせい瓦版」の発行（適宜）

⑫神政連広報事業の充実

\* 神政連京都府本部で単独で独立したホームページを立ち上げる。

\* 「清政」「せいせい瓦版」等、時局問題を敏速に掲載。会員や世論の喚起を促す。

\* 京都の驍を語る女性の会専用のページを作成。活動の充実を目指す。

⑬会員の増強

\* 支部との連携の下、組織拡充・拡大に努め、特に若い世代や女性を中心とした会員増強を図る。

\* 政策推進に資するため、青年隊組織の充実を図り、問題発生時には必要に応じて早急に対処する。

⑭関係団体との協力

\* 京都府神社庁の関係団体を始め、英霊にこたえる会・日本会議・京都の驍を語る女性の会・京都府議会神道議員連盟・京都市神道議員連盟との連携を深め協力事業を推進する。

⑮東北地方太平洋沖地震被災地復興に関わる事業

\* 中央本部近畿地区連絡協議会と連携、参画し早期復興に向けて積極的に事業展開する

⑯その他必要と思われる事業（未定）



## 第二十七回 会員大会

### 第一部

## □ 式典 □

去る平成二十五年六月十九日、リーガロイヤルホテル京都において、第二十七回会員大会が盛大に開催された。大会には神道政治連盟長曾我部延昭会長、京都府・市の神道議員連盟の議員をはじめ多くのご来賓と府内会員約三百名が出席した。

第一部の大会は国旗儀礼に始まり、後藤副幹事長の司会で滞りなく次第が進められ、国旗儀礼を以て式典が取り納められた。

式辞では、四期目を迎えた林本部長が挨拶し、創立四十周年記念事業をはじめ、三期九年間に亘る諸活動へのご理解とご協力に対し、感謝の意が述べられた。

また、目前に迫った参議院選挙

に向けて、神政連唯一の推薦候補である全国区比例代表のありむら治子議員と、京都府本部が推薦している京都選挙区の西田昌司議員への積極的な支援を訴えた。特にありむら議員については、政党名ではなく、「個人名」で投票して頂くことの周知について、重ねて要請があった。

次に来賓の紹介がなされ、来賓を代表して神道政治連盟長曾我部延昭会長、京都市神道議員連盟寺田一博会長よりそれぞれ鄭重なる祝辞を頂戴した。

会務報告では、梶幹事長による活動報告に続き、ありむら議員の秘書である村田小百合氏より、衆議院と参議院における比例代表の投票方法の違いについて説明があり、それが浸透していなかった前回の選挙結果を踏まえ、是非個人名で投票頂きたいと訴えられた。



### 第二部

## □ 講演会 □

### 「国家戦略としての教育再生」

講師 高崎経済大学教授  
八木秀次先生

#### ■ 教育再生

私は以前から、国家戦略として教育再生を行うべきであり、教育自体を国家戦略の中に位置付けるべきだと考えていました。

教育再生とは「教育を国家戦略の中に位置付けて、国家戦略の視点から教育を見直していく」という考えです。私もメンバーである教育再生実行会議が出した三度の提言でも、この「国家戦略」という言葉が重要なキーワードになってきております。

#### ■ 強いアメリカ

一九七六年に発足したカーター政権は、アメリカ史上最悪の政権でした。イメージとしては前民主党政権だと思っして下さい。本当にそっくりです。





この時、アメリカは基幹産業である自動車や鉄鋼の分野で日本との経済競争に敗れ、さらに外交でも敗北が相次ぎます。アメリカ人の誇りは打ち壊され国民は自信を失います。

一九八一年に「強いアメリカ」を作るためレーガン政権が発足します。そこで政府から出されたレポートが『危機に立つ国家』です。その冒頭「今、我が国は危機に瀕している。かつて我が国は、様々な分野で世界に冠たる国であったが、今はそうではない。その原因

の最たる物は教育だ。」というものでした。アメリカはその反省に立ち、国家戦略として抜本的に教育のあり方を変えていきます。

まず、初等・中等教育において宗教教育を取り入れました。もともと宗教国家ですから、原点に戻ることが強いアメリカを取り戻すことだと考えたわけです。

もう一つは、日本の教育に学べないことでした。国民の平均的学力の高さや、規範意識の高さが経済隆昌の背景にあったと分析したわけです。そして注目すべきは、

戦前の日本の教育も含めて学ぶという点です。つまり「道徳教育」を多く取り入れたわけです。

現在アメリカでは「キヤラクター・エデュケーション」と呼ばれる、道徳・人格教育・品性教育が行われ、成果を上げています。教育を立て直すことによつて、国民に自信と誇りを取り戻させたということです。

### ■道徳の教科化

日本では、昭和三十三年に週一時間の道徳の時間が設けられました。しかし妥協の産物で全く機能していません。実行会議では、道徳の教科化を打ち出しておりま

す。安倍政権が経済政策を全面に押し出していますが、経済政策と教育再生は一体です。経済は政府の政策だけではうまくいきません。それを支えていく国民の精神が無ければ成果は出ません。この精神の部分を教育が担う。そのための道徳教育という側面もあるわけです。

### ■強い日本人

今、世界ではグローバル競争が熾烈です。私たちの提言は「世界

と戦って勝つ強い日本人を作ろう」ということです。そのためには、英語が国際共通語になっている現在、武器としての英語教育は不可避です。世界で戦うためには、子ども達、特に日本の大学生にこれを身につけさせる必要があります。

そこで重要となるのが、日本人としてのアイデンティティです。国境を意識しなくなればなるほど、自分は日本人だということを感じ強意識しなければなりません。そうしなければ日本という国は消えて無くなるでしょう。

しかし残念なことに、日本人としてのアイデンティティをもたせる教育は、小中高では否定的に扱われ、大学ではほとんど教えられていません。ここを改革しなければ日本の成長と世界と戦って勝つ「強い日本人」は育てられません。この強い日本人を育成していくことが国家戦略としての教育再生の目的です。

(神尾和俊)



# 会員の ご紹介

## 京都府議会神道議員連盟 京都市神道議員連盟



京都府議会  
多賀久雄 先生

神道政治連盟京都府本部の皆様におかれましては、日本の文化・伝統を正しく伝える活動のため、日夜ご奮闘いただいておりますことに敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

私事で恐縮でございますが、この度第七十七代の京都府議会議長に就任いたしました。皆様にお支えいただいたお蔭でございまして、改めまして厚くお礼申し上げます次第であります。

さて、安倍総理の再登板により、憲法改正が現実味を帯びてまいりました。皆様はこれまでから、地道に日本らしさの回復を目指す活動が続けておられます。その活動は、戦後体制がどうだったのかを問う活動でもあり、私は、ある種改憲につながる活動だと思っております。しかし、まだまだ改憲のハードルは高く、地域に根を張る皆様や私も地方議員が、改憲につながる地道な活動を盛り上げていく必要があると思っております。

そんな思いの中で、私は十年近く、成人式の祝辞で、「教育勅語」の「父母に孝に、兄弟に友に、夫婦相和し、朋友相信じ」と「一旦緩急あれば義勇公に奉じ」のくだりを引用しながら、出来るだけわかりやすい言葉で、日本人としての正しい生き方を新成人に説いております。これも私の日本らしさの回復を目指す活動の一つであり、改憲につながる活動の一つだと信じて実践しております。

素晴らしい日本になるよう、ともに頑張ります。



京都市議会  
寺田一博 先生

神道政治連盟京都府本部の皆様におかれましては、日々皇室の弥栄と私たち京都市民のくらしの安寧を御祈願いただき、まことにありがとうございます。また京都市神道議員連盟のさまざまな活動にご支持、ご提言いただいておりますことに対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

現在、私は京都市市会改革推進委員長として議会や議員の役割等に関するさまざまな提案を議論しております。

中でも議会機能の充実・強化、そして議員が普段どのような活動をしているのか、「身近に感じられる議会」に向けて「議会基本条例」を今年度中に制定しようと取り組む行っております。また平行して広報活動にも力を入れ、議会会期中にはポスターの掲示を行い、委員会のインターネット中継など、これまで以上に「見える議会」への取り組みを進めておりますので、是非ご覧いただきたいと思っております。

また、先般京都市会では「京都御苑周辺の環境保全に関する決議」を可決致しました。京都市神道議員連盟としては、「双京構想」の実現に向けて京都御苑周辺をはじめ都市格向上の為の環境整備を提言しております。

今後とも貴連盟と意見交換を行い、市民にとってよりよい京都市政が行われるようしっかりと働くことをお約束致します。



# あしあと

## 事務局からの活動報告

【平成 25 年 6 月から 11 月まで】

六月

- 6月24日 平成25年度第1回代議員会 59名出席 於：神社会館  
6月26日 第3回ありむら治子選挙対策会議 本部長以下10名出席 於：西田昌司事務所  
6月28日 衆議院議員伊吹文明政経文化懇談会 梶幹事長出席 於：京都国際会議場

七月

- 7月15日 丹波五支部連合会総会 林本部長出席 於：枕川楼  
7月20日 京都府神社庁 関係団体代表者懇話会 林本部長他出席 於：神社会館  
7月22日 西田昌司参議院議員、ありむら治子参議院議員当選祝電打電  
7月27日 京都市上支部総会 林本部長出席 於：京都ブライトンH

八月

- 8月15日 終戦記念日の集い 中嶋事務局長参列 於：靖国神社  
8月17日 中支部神社総代会総会 林本部長出席 於：金刀比羅神社会館  
8月21日 丹後六支部連合会総会 林本部長出席 於：吉翠園  
8月24日 山城四支部連合会総会 林本部長出席 於：石清水八幡宮研修センター  
8月27日 監査委員会 本部長以下7名出席 於：神社会館  
" 京都府本部役員会 22名出席 於：神社会館  
" 参議院選挙反省会 ありむら治子議員並び府議連市議連議員、本部長以下29名出席 於：神社会館  
8月30日 神道政治連盟役員会 林本部長出席 於：参議院議員会館

九月

- 9月2日 日本会議・京都総会講演会キャラバン隊報告会 関係者出席 於：リーガロイヤルHホテル京都  
9月9日 英霊にこたえる会運営委員会 梶幹事長・中嶋事務局長出席 於：京都市役所  
9月17日 京都府神社庁神宮大麻暦頒布始奉告祭 関係者参列 於：神社会館  
" 第23回神宮大麻暦頒布増強推進懇談会 関係者出席 於：神社会館  
" 京都府神社庁第39回神職大会 林本部長出席 於：京都ブライトンH  
9月21日 衆議院議員宮崎けんすけ君を育てる会 林本部長出席 於：Hグランヴィア京都  
9月23日 衆議院議員田中ひでゆき君を励ます集い 林本部長出席 於：Hグランヴィア京都  
9月25日 浦上名誉宮司の卒寿を祝う会 林本部長出席 於：Hニューアワジ  
9月26日 綴喜神社総代会総会 梶幹事長出席 於：松江六道湖  
～27日  
9月28日 第42回交通慰霊祭 関係者参列 於：西陣織会館  
9月30日 平成25年度第2回定例代議員会 58名出席 於：神社会館

十月

- 10月4日 京都府議会議員多賀久雄議長就任祝賀会 林本部長出席 於：Hグランヴィア京都  
10月11日 神道政治連盟滋賀県本部時局講演会 林本部長出席 於：栗東芸術文化会館  
10月26日 京都市会議員さくらい泰広市政報告会 中嶋事務局長出席 於：アピカルイン京都  
10月30日 英霊にこたえる会京都府本部総会 林本部長以下関係者出席 於：新都H  
" 植田喜裕府議会議員講演会・懇親会 中嶋事務局長出席 於：ANAクラウンプラザH京都  
10月31日 神道政治連盟近畿ブロック協議会事務会計引継会 林本部長中嶋事務局長出席 於：大阪府神社庁

十一月

- 11月2日 自由民主党京都府連合会政経文化懇談会 小島副幹事長・中小路監査委員・中村事務局員出席 於：みやこめっせ  
11月5日 洛北支部総代会総会 林本部長出席 於：グラントプリンスH京都  
11月13日 ニノ湯しんじ活動報告会 林本部長出席 於：右京ふれあい文化会館  
11月17日 京都府神社庁新嘗祭 林本部長他関係者参列 於：神社会館神殿  
11月19日 沖繩京都の塔慰霊参拝団 本部長以下27名参加 於：沖繩県  
～20日迄  
11月25日 第62回神宮式年遷宮記念全国関係者大会 林本部長出席 於：三重県営サンアリーナ  
11月29日 第30回近畿神社庁連合総会 林本部長出席 於：琵琶湖H

選挙関連記事は5ページに掲載



## 御製を拝し

# 白石を踏み進みゆく我が前に光に映えて新宮は立ち

伊勢の神宮では、本年十月二日に内宮で、また同月五日には外宮において、それぞれ厳粛のうちに二十年に一度の式年遷宮の最重儀「遷御の儀」が執り行われました。私たち全国人民挙げて、この盛儀を心よりお祝い申し上げるところであります。

冒頭の御製は、平成六年に天皇陛下が、前回の第六十一回式年遷宮後をはじめて豊受大神宮を御参拝遊ばされた折、その想いを込めてお詠みになられた歌です。このたび新たに立てられた両宮の御社殿も、地元神領民と全国津々浦々から参加した一日神領民たちが、一つ一つ心を込めて納めたお白石によって、神々しく照り輝いていることと存じます。

こうして御社殿の造営を繰り返し、神さまにお遷りいただく式年遷宮は、清浄であることを尊ぶとともに、祭祀を繰り返すことよって大神様の御神威の高揚を願う、日本人の心を反映したものであります。この、常に新しく再生し、永遠に美しくありつづけることを尊ぶ日本人独特の精神を「常若」と言います。神宮の式年遷宮は、「常若」の象徴でもあるのです。

## 編集後記

○この度、神政連京都府本部会報『清政』は、誌面の装いを一新し、第五五号を発行いたしました。

○より読みやすくなるよう若干ではありませんが文字を大きくし、ページ数を増やしました。

○何分素人の編集ゆえ、お見苦しいところは多々ありましようが、皆さまのご意見を伺いつつ、よりよい会報をつくって参りたいと、編集子一同意気込んでおります。

○今後ともご愛読下さいますようお願い申し上げます。



神道政治連盟京都府本部会報

清政 第55号

発行日：平成25年12月6日  
発行所：神道政治連盟京都府本部  
〒616-0022  
京都市西京区嵐山朝月町68-8  
電話 075-863-6677